

近代英語協会ニューズレター

2015年(平成27年)8月31日

近代英語協会事務局

〒156-8550 東京都世田谷区桜上水 3-25-40

日本大学文理学部英文学科保坂研究室内

協会ホームページ <http://www.modernenglish.jp>

(電話: 03-5317-9709 英文学科代表番号)

年会費振替口座 00810-9-5821)

1 第32回大会の報告

去る6月27日(土)に、愛知学院大学において開催され、1件のシンポジウム、3件の研究発表、ヘルシンキ大学の Leena Kahlas-Tarkka 先生及び津田塾大学名誉教授の千葉修司先生による特別講演が行われました。発表者と司会者の皆様、お疲れさまでした。ご参加いただいた会員の皆様には、熱心にご清聴いただき、また、貴重なコメントや質問をお寄せいただき、誠にありがとうございました。48名の方が出席された懇親会では、諸々の話題に花が咲き、瞬く間に90分が過ぎ行きました。

今大会の参加者数は92名でした。近年ないほど多くの皆様にご参加いただき、大変喜んでおります。どうか会員の皆様には、次回も万障お繰り合わせの上ご出席を賜りますようお願い申し上げます。なお、年度別参加者数は次のとおりです。

年度	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
大会	約 80	72	85	79	84	83	92
懇親会	25	39	38	40	39	40	48

2 第33回大会について

次回大会は、2016年6月25日(土)、広島県にある安田女子大学において開催を予定しております。シンポジウムは、現在企画中で、テーマ・講師等、詳細はニューズレター冬号でお知らせいたします。

個人研究発表の締め切りは 2016年1月31日(日)となっております。発表をご希望の方は、(a) 発表題目と300字程度の要旨、(b) 氏名・所属・職位・略歴・連絡先(住所、電話番号、e-mail アドレス)・大会発表助成金希望の有無(詳細は p.3 No.8 を参照)を別文書として作成し、下記宛てにお申し込み下さい。

(ア) 電子メールによる応募

- ・ (a) MSWord 文書、及びその PDF ファイルを添付。
- ・ (b) MSWord 文書のみ。

宛先 hirayama@onomichi-u.ac.jp

(イ) 郵送による応募

- ・ (ア)の(a)又は(b)を入れたフロッピーディスクまたは CD-R
- ・ 打ち出し原稿

宛先 〒722-8506

広島県尾道市久山田町 1600-2

尾道市立大学 平山直樹

3 新会長、および新事務局体制について

児馬修会長の退任に伴い、理事会において厳正なる投票を行った結果、第7代会長として菊池繁夫氏（関西外国語大学教授）が選出され、総会において承認されました。また、後日会長により、新事務局長として平山直樹氏（尾道市立大学准教授）が、編集幹事として坂内宏行氏（弓削商船高等専門学校准教授）が指名されました。なお、IT管理責任者は川端朋広氏（愛知大学教授）、監事は山田宣夫氏（目白大学教授）に引き続きお願いすることとなりました。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

4 理事の交代について

2016年3月31日をもちまして、中川憲氏、前田満氏の2名理事が任期を満了し退任されます。長きに渡り協会の発展にご尽力頂き、誠に有り難うございました。なお、後任の理事として、服部義弘氏（大阪学院大学）、縄田裕幸氏（島根大学）、柳朋宏氏（中部大学）が就任されます。任期は、2016年4月1日～2020年3月31日の2期4年です。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

5 『近代英語研究』 第31号の発行について

第31号は予定どおり刊行され、大会ご出席の会員の方々には当日お渡しいたしました。当日ご欠席の会員の方々には、このニューズレターとともに同封申し上げます。

6 『近代英語研究』 第32号の原稿募集について

第32号（2016年7月発行）の投稿締め切りは2015年9月15日（土）となっております。奮ってご応募ください。審査は匿名で行われます。投稿規定・応募要領等は、『近代英語研

究』の巻末、または協会ホームページ左下「出版物」の中の「投稿要領」をご覧ください。

7 近代英語協会最優秀新人賞ならびに優秀学術奨励賞の選考結果について

本年度は、2名の応募者がありましたが、編集委員会による厳正なる審議の結果、残念ながら該当者がございませんでした。次年度の応募をお待ち致しております。

なお、既にご案内のとおり、賞には、最優秀新人賞と優秀学術奨励賞の2種類があります。若手による当該年度の掲載論文の中から、前者は特に秀でている論文に、後者は、最優秀新人賞には至らないが将来性を感じさせ優れていると評価された論文に与えられます。論文応募の際、「執筆者情報ファイル」の該当欄に(✓)をご記入いただくだけで結構です。選考対象は、「協会誌への掲載が可となった、投稿締切日時時点で37歳以下の、または修士号取得後10年以内の執筆者による論文のうち、原稿応募時に「執筆者情報ファイル」において賞の選考を希望する意思が表明されていた論文」(選考規程第2条より)です。最優秀新人賞には表彰状と記念品が、優秀学術奨励賞には表彰状が授与され、その榮譽が讃えられます。

8 大会発表助成金制度の創設について

6月の理事会にて、来年度より、学会参加への費用を軽減し、若手研究者を中心に学会発表を奨励するため、学会発表助成金制度を設けることとなりました。助成金対象者は、大会発表を行う大学院生・常勤職のない会員(申請時37歳以下、または修士号取得後10年以内で、所属機関等より大会会場への交通費の補助を受けていない者)を対象と致します。また、助成金額は、自宅から大会会場までの国内交通費(往復)とし、交通費の計算は協会事務局が行います。なお、申請方法は、大会発表の受理後に、申込用紙(発表投稿時に希望を明記)に詳細を記入し、事務局に提出頂きます。是非、多くの発表の応募を期待しております。

9 離任の挨拶

本年、6月に開催されました近代英語協会理事会におきまして、次期会長に菊池繁夫先生(関西外国語大学)が就任されることが決まり、この第32回大会をもちまして、会長職を終えることになりました。あっという間の2年でしたが、何とか無事に任期を終えることができましたのも、ひとえに会員の皆様のご協力・ご支援のおかげで、厚くお礼申し上げます。

本学会も、大会の開催時期を5月から6月(7月)に変更しましてから、早いもので、3回の大会を終えました。オープンキャンパスなどの勤務校の行事が増える中で、参加できなくなる会員が増えるのではないかと、心配しておりましたが、今年の大会も90名を超える参加者があり、ひとまず安堵いたしております。

この2年、事務局長の保坂道雄先生、編集委員会幹事の堀田隆一先生、そしてホームページの管理をいただいた川端朋広先生にも、学会運営に関しまして、多大なご尽力を賜りまして、心より感謝申し上げます。

この10月より、菊池新会長の下で、事務局長に平山直樹先生(尾道市立大学)、編集幹事に坂内宏行先生(弓削商船高等専門学校)が加わり、新事務局が発足いたします。先日の大会においてもお話ししましたように、文系の高等教育・研究機関にとって、厳しい状況が続いております。30年を超える歴史を持つ近代英語協会ですので、今後、学会が果たすべき役割、求められる役割も、ますます重要となりましょう。新事務局にも、これまでと相変わらぬご支援をいただきますようお願い申し上げます。学会のさらなる発展をお祈りしつつ、退任のご挨拶とさせていただきます。

平成27年8月21日

児馬 修

10 事務局より

1期2年間という短い期間でしたが、無事職務を終えることができ、今は安堵しております。不慣れな事務処理で、ご不便をお掛けしたこともあったと存じますが、会員皆様のご協力のお陰で、2回の大会も無事遂行することができました。心より御礼申し上げます。

なお、協会に関するお問い合わせとご連絡は下記の新事務局までお願いできればと存じます。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

保坂道雄

- 協会誌について
坂内宏行
(sakauchi@gen.yuge.ac.jp)
- ホームページについて
川端朋広
(kawabata@aichi-u.ac.jp)
- その他全般について
平山直樹
(hirayama@onomichi-u.ac.jp)